

今年の豊作を祈願「かぎ引き祭り」



2月21日、上高隈町の中津神社で「かぎ引き祭り」が開催されました。
この祭りは、二またの雌かぎとかぎまたの雄かぎの2本の神木を、上高隈・下高隈の2地区に分かれて引き合う、約350年の歴史を持つ伝統行事。3回勝負で2勝した地区が豊作になると言われており、ほら貝や太鼓が鳴り響く中、両陣営が力を合わせて引き合った結果、3年ぶりに上高隈地区が勝利しました。

山宮神社で「春祭り」



2月21日、串良町細山田の山宮神社で、昭和37年に県の無形民俗文化財に指定された「山宮神社春祭り」が開催されました。
この春祭りは、五穀豊穡と家内安全を祈願して行われる約400年の歴史を持つ伝統行事です。当日は、堂園、馬掛、生栗須の棒踊り保存会による「正月踊り」や「かぎ引き」、木製の牛を引いて田をならす「田打ち」が奉納され、観客は力強さあり、笑いあいの伝統芸能を楽しんでいました。

日間5位で郷土入り



2月13日から17日までの5日間、第63回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催され、12チームによる熱い戦いが繰り広げられました。
大会4日目の16日は、ゴールがリナシティかのや前とあつて、多くの市民が公道で声援を送る中、肝属チームのアンカー森下誠実選手(鹿屋体育大学)は、日間5位でゴール。観客らは健闘をたたえていました。

スポーツ優秀者に奨励金を交付



2月19日、南大隅高校3年の内村舞織さん(田崎中学校卒)に「スポーツ奨励金」が交付されました。これは、本市のスポーツ振興と競技力向上のため優秀な成績を収めた個人、団体を対象としたもの。
内村さんは自転車競技において全国優勝するなどの優秀な成績が評価されての交付となりました。このほか、鹿屋体育大学生27個人4団体にも交付されました。

光ファイバー網で災害に備える



2月1日、市と国土交通省大隅河川国道事務所の間で「光ファイバー網の相互接続等に関する協定」が締結されました。
これは災害情報の共有化を強めることを目的に締結されたもので、今後はこれまでの通信ネットワークに比べ、双方が光ファイバー網を接続することで通信容量が大きくなり、現場の映像や気象観測情報を即座に入手できるようになります。

母子寡婦の歩みを称えて



2月10日、市内のホテルで、平成27年度鹿屋市母子寡婦福祉会ひとり金婚式「が開催されました。この式典は、夫に先立たれるなど、夫婦で結婚50周年の金婚式を祝うことがかなわなかった女性を対象に、鹿屋市母子寡婦福祉会が毎年行っているもので、今年で23回目。会員や関係者約50人が参列する中、参加した8人に賞状と記念品が贈られました。

畳の良さをPR



2月8日、田崎小学校で畳の贈呈式が行われました。これは日本の伝統文化である畳の良さを子どもたちにも知ってもらおうと県畳工業組合肝属支部が行ったもの。同小学校の尾辻校長は「学校生活に役立っている」と話していました。

県バレー大会で優勝



2月23日、1月から2月にかけて開催された県中学校新人バレーボール大会兼九州中学校バレーボール選抜大会県予選会で優勝し、九州大会への出場を決めた鹿屋中学校女子バレーボール部のメンバー12人が市役所を表彰訪問しました。

良好な景観の形成に貢献



2月22日、高須町の街並みや海岸等の景観の維持などに対する貢献が認められ「かごしま・人・まち・デザイン賞」の景観づくり部門で奨励賞を受賞した「高須地区生涯学習推進協議会」会長の上原義史さんが市役所を表彰訪問しました。

ジェーエフフーズの第二工場が完成



2月12日、昨年2月に市と「立地協定」を結び、施設の建設を進めていた株式会社ジェーエフフーズ第二工場の落成式が行われました。この工場は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを受けて、鶏肉の完全加熱加工品を製造する工場として川西町にある第一工場の隣接地に建設されたもの。約50人が新規雇用され、今月中に本格的な操業が開始される予定です。

自慢の朗読で準グランプリ



2月14日、市立図書館で「図書館エッセイコンテスト表彰式」が行われました。これは、本を読むおもしろさや文章を書く楽しさを知ってもらおうと行われたもの。小学1年生から一般までの各部門から9人が特選を受賞しました。

アジアのスポーツ関係者が表敬



2月29日、鹿屋体育大学で行われるスポーツについての国際セミナーに参加するため、スリランカや台湾などアジア各国から市を訪れていた大学院生やトップコーチなど14人が市役所を表彰訪問しました。